

世の中が輝いた

細木一久子　主婦

(須崎市神田)

世の中こんなに明るかつたのか。手術のおかげで見る物全てが美しく輝いて見える。

眼科に行くと診察室に案内され、私が院長です、よろしくお願ひしますと、院長自らのあいさつを受け、看護師さんたちからも丁寧な検査や説明があり、手術の日が来ました。

手術台に横たわるとやは

り不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、手術中先生が声をかけ続けてくださり、最後に、うまくいきましたよとの声を聞き、心がなぐさみ安堵(あんど)しました。翌日眼帯を取ると、なんとまあ世の中が変わったのかと思われるほど、全てが明るく鮮明であるのに驚きました。鏡で見た自分の顔は、おばあちゃんの顔であり、隠したい所も見えすぎて怖い感じです。

市の眼科で白内障の手術をしていただきました。

知人に会つても近くまで来ないと誰だか分からず、これまでには失礼してしまい、年を重ねる事は大変だなどネガティブに考へがちになつていました。

11月に入つて私は、土佐市

これからは、鏡の中の自分を受け入れながら、ポジティブに生きていくこと思います。そして、そういう想いにさせていただいた関係者の方々に感謝しています。

行つた両目の手術が終了。